

# JXホールディングス株式会社との 経営統合に関するご説明



東燃ゼネラル石油株式会社

TonenGeneral

証券コード 5012

## 目 次

株主の皆さまへ.....	1	⑥ 統合グループの理念.....	7
経営統合の概要.....	2	⑦ 統合グループの事業概要.....	8
① 経営統合の背景・目的.....	2	⑧ 統合グループの事業戦略.....	9
② 経営統合の流れ.....	3	⑨ 中核事業の事業戦略.....	9
③ 株式交換比率.....	4	⑩ 統合効果.....	10
④ 統合グループの名称および商号.....	4	⑪ 統合グループの経営目標.....	10
⑤ 統合持株会社および 統合エネルギー会社の概要.....	5	⑫ 株主還元方針.....	11
		よくいただくご質問とご回答(Q&A).....	12



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当社とJXホールディングス株式会社(以下、「JXホールディングス」)とは、2017年4月をもって、株式交換により、経営統合することについて合意に達し、両社取締役会の承認のもと、2016年8月31日に経営統合に関する契約を締結しました。本経営統合は、両社の株主総会および関係当局の承認などを前提としており、統合に係る契約などの承認を2016年12月21日開催の当社臨時株主総会にお諮りいたします。

2012年に新生東燃ゼネラルグループが発足して以来、当社は中・長期的に進むべき方向性・戦略を検討してきました。当社グループ単独での取り組みとしては、中期経営計画での戦略を着実に実行して大きな成果を挙げてきました。一方で、グループを超えた企業統合も企業価値・株主価値を向上させる一つの選択肢ととらえ、検討を重ねてきました。

当社とJXホールディングスとの経営統合の決断は、他の方法では成し得ない、大きな株主価値向上の機会であるとの認識で両社が一致したことによるものです。両社の強みである、国内外に誇る経営規模、多様なビジネスポートフォリオ、効率的な経営を掛け合わせることで、企業価値・株主価値を一段と向上させることができると確信しています。

株主の皆さまにおかれましては、本経営統合の趣旨をご理解いただき、来る12月21日開催の臨時株主総会におきまして、本経営統合にご賛同賜りますようお願い申し上げます。

2016年11月29日

東燃ゼネラル石油株式会社  
代表取締役社長

## ① 経営統合の背景・目的

### 事業環境

- 国内石油製品需要の減少は構造的
- グローバルな事業環境変化による国際的な競争の激化

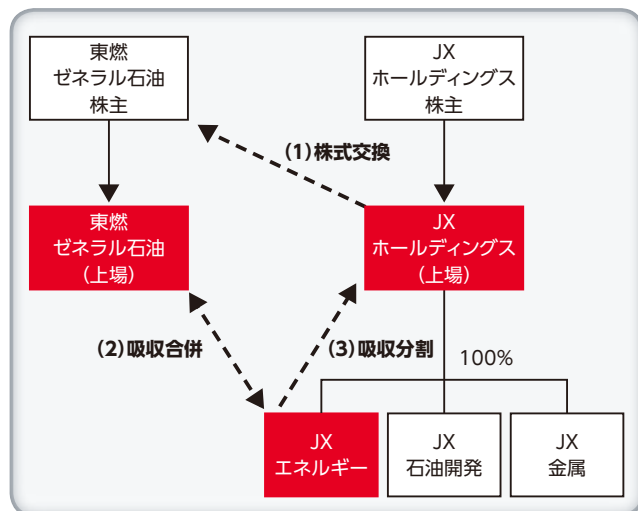
厳しい事業環境を踏まえ、  
両社グループの経営資源を結集し、  
企業価値の最大化を図る

### 経営統合の 目的

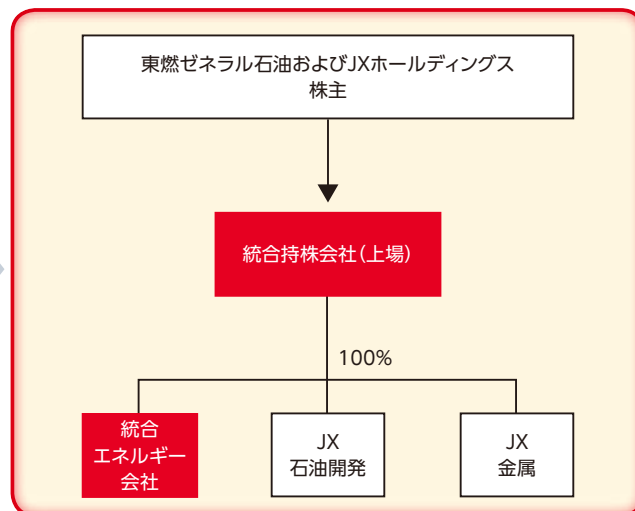
経営統合の実現により、国際的な競争力を有するアジア有数の  
総合エネルギー・資源・素材企業グループとして発展

## ② 経営統合の流れ

### 経営統合前



### 経営統合後



- (1) JXホールディングスを株式交換完全親会社とし、当社を株式交換完全子会社とする株式交換を2017年4月1日（以下、「経営統合日」）に実施します。具体的には、当社の普通株式を保有する株主の皆さまに対し、JXホールディングスの普通株式を交付します。
- (2) 経営統合日に、JXエネルギー株式会社（以下、「JXエネルギー」）を吸収合併存続会社とし、当社を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行います。
- (3) 経営統合日に、JXエネルギーが吸収合併により当社から承継を受けた権利義務の一部（上場株式、貸付金、社債、借入金の一部等）などをJXホールディングスが承継するために、JXホールディングスを吸収分割承継会社とし、JXエネルギーを吸収分割会社とする吸収分割を行うことを予定しています。

### ③ 株式交換比率

	JXホールディングス	当社
株式交換に係る株式交換比率	1	2.55
株式交換により交付する株式数	普通株式：928,782,825株(予定)	

当社の普通株式1株に対してJXホールディングスの普通株式2.55株を交付します。ただし、上記株式交換比率は、当社またはJXホールディングスの財産状態または経営成績に重大な支障となりうる事象が発生または判明した場合などにおいては、両社協議のうえ、変更することがあります。

### ④ 統合グループの名称および商号

統合グループ ..... JXTGグループ  
 統合持株会社 ..... JXTGホールディングス株式会社  
 統合エネルギー会社 ..... JXTGエネルギー株式会社

## ⑤ 統合持株会社および統合エネルギー会社の概要

### 統合持株会社(予定)

(1) 名称	JXTGホールディングス株式会社		
(2) 所在地	東京都千代田区大手町一丁目1番2号		
(3) 取締役・監査役	代表取締役会長 代表取締役社長 社長執行役員 代表取締役 副社長執行役員 取締役 副社長執行役員 取締役 常務執行役員 取締役 常務執行役員 取締役 常務執行役員 取締役 執行役員 取締役 (非常勤) 取締役 (非常勤) 取締役 (非常勤) 取締役 (非常勤) 取締役 (非常勤) 社外取締役 (独立役員) 社外取締役 (独立役員) 社外取締役 (独立役員) 社外取締役 (独立役員) 社外取締役 (独立役員) 常勤監査役 常勤監査役 常勤監査役 社外監査役 (独立役員) 社外監査役 (独立役員) 社外監査役 (独立役員) 社外監査役 (独立役員)	木村 康 内田 幸雄 武藤 潤 川田 順一 小野田 泰 安達 博治 大場 邦光 大田 勝幸 杉森 務 廣瀬 隆史 黒崎 猛 三宅 俊作 大井 滋 小宮山 宏 大田 弘子 大塚 陸毅 近藤 誠一 宮田 賀生 大村 直司 瀬戸川 隆 桑野 洋二 兼元 俊徳 牛尾 奈緒美 高橋 伸子 西岡 清一郎	現 JXホールディングス株式会社 代表取締役会長 現 JXホールディングス株式会社 代表取締役社長 社長執行役員 現 東燃ゼネラル石油株式会社 代表取締役社長 現 JXホールディングス株式会社 取締役 副社長執行役員 現 東燃ゼネラル石油株式会社 専務取締役 現 JXホールディングス株式会社 取締役 常務執行役員 現 JXホールディングス株式会社 取締役 常務執行役員 現 JXホールディングス株式会社 取締役 執行役員 現 JXホールディングス株式会社 取締役 (非常勤) / JXエネルギー株式会社 代表取締役社長 社長執行役員 現 東燃ゼネラル石油株式会社 代表取締役副社長 / EMGマーケティング合同会社 社長 現 JXホールディングス株式会社 取締役 (非常勤) / JXエネルギー株式会社 取締役 副社長執行役員 現 JXホールディングス株式会社 取締役 (非常勤) / JX石油開発株式会社 代表取締役社長 社長執行役員 現 JXホールディングス株式会社 取締役 (非常勤) / JX金属株式会社 代表取締役社長 社長執行役員 現 JXホールディングス株式会社 社外取締役 現 JXホールディングス株式会社 社外取締役 現 JXホールディングス株式会社 社外取締役 現 JXホールディングス株式会社 社外取締役 現 東燃ゼネラル石油株式会社 社外取締役 現 JXホールディングス株式会社 常勤監査役 現 JXホールディングス株式会社 常勤監査役 現 東燃ゼネラル石油株式会社 監査役 現 JXホールディングス株式会社 社外監査役 現 JXホールディングス株式会社 社外監査役 現 東燃ゼネラル石油株式会社 社外監査役 現 JXホールディングス株式会社 社外監査役
(4) 事業内容	エネルギー事業、石油・天然ガス、開発事業、金属事業を行う子会社およびグループ会社の経営管理ならびにこれに付帯する業務		
(5) 資本金	100,000百万円		
(6) 決算期	3月31日		
(7) 株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社		
(8) 1単元株式数	100株		

## 統合エネルギー会社(予定)

(1) 名称	JXTGエネルギー株式会社	
(2) 所在地	東京都千代田区大手町一丁目1番2号	
(3) 取締役・監査役	代表取締役社長 社長執行役員 杉森 務 代表取締役 副社長執行役員 廣瀬 隆史 取締役 副社長執行役員 野呂 隆 取締役 副社長執行役員 有重 哲 取締役 常務執行役員 宮田 知秀 取締役 常務執行役員 佐藤 宏之 取締役 常務執行役員 花谷 清 取締役 常務執行役員 原 享 取締役 常務執行役員 税田 裕二 取締役 常務執行役員 横井 敬和 取締役 常務執行役員 五十嵐 仁一 取締役 常務執行役員 田口 聡 取締役 常務執行役員 桑原 豊 取締役 常務執行役員 横田 宏幸 取締役 常務執行役員 忍田 泰彦 取締役 常務執行役員 加藤 仁 取締役 常務執行役員 岩瀬 淳一 取締役 常務執行役員 中原 俊也 監査役(常勤) 松澤 永泰 監査役(常勤) 松尾 博一 監査役(常勤) 中野 紳一郎 監査役(常勤) 藏島 真吉 監査役(非常勤) 瀬戸川 隆	現 JXエネルギー株式会社 代表取締役社長 社長執行役員/JXホールディングス株式会社 取締役(非常勤) 現 東燃ゼネラル石油株式会社 代表取締役副社長/EMGマーケティング合同会社 社長 現 JXエネルギー株式会社 取締役 常務執行役員 現 JX不動産株式会社 代表取締役社長 現 東燃ゼネラル石油株式会社 専務取締役 現 JXエネルギー株式会社 取締役常務執行役員 現 JXエネルギー株式会社 取締役常務執行役員 現 JXエネルギー株式会社 取締役常務執行役員 現 東燃ゼネラル石油株式会社 常務取締役 現 東燃ゼネラル石油株式会社 常務取締役 現 JXエネルギー株式会社 取締役 常務執行役員 現 JXエネルギー株式会社 取締役 常務執行役員 現 JXエネルギー株式会社 取締役 常務執行役員 現 東燃ゼネラル石油株式会社 取締役/東燃化学合同会社 社長/株式会社NUC 代表取締役会長 現 東燃ゼネラル石油株式会社 取締役 現 JXエネルギー株式会社 常務執行役員 現 JXエネルギー株式会社 執行役員 現 JXエネルギー株式会社 執行役員 現 JXエネルギー株式会社 監査役(常勤) 現 JXエネルギー株式会社 監査役(常勤) 現 JXエネルギー株式会社 監査役(常勤) 現 EMGマーケティング合同会社 エグゼクティブ財務アドバイザー 現 JXエネルギー株式会社 監査役(非常勤)/JXホールディングス株式会社 常勤監査役
(4) 事業内容	石油製品(ガソリン・灯油・潤滑油など)および石油化学製品などの精製・製造および販売、ガス・石炭の輸入および販売、電気の供給など	

## ⑥ 統合グループの理念

限りあるエネルギー・資源・素材の効率的・安定的な供給を通じて、活力ある未来づくりに貢献すること。それは、社会やそこで働き、暮らす皆さま一人ひとりの今と未来を見つめることから始まります。私たちは、日々の企業活動における創造と革新を通じて、社会や人々の暮らしの今を支え、未来をより良く変える力になりたいと考えています。

その想いを、統合グループの「グループ理念」に込めました。

<b>使命</b>	<b>地球の力を、社会の力に、そして人々の暮らしの力に。 エネルギー・資源・素材における創造と革新を通じて、 社会の発展と活力ある未来づくりに貢献します。</b>	
<b>大切にしたい 価値観</b>	<b>社会の 一員として</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>高い倫理観</b> 誠実・公正であり続けることを価値観の中核とし、高い倫理観を持って企業活動を行います。</li><li>● <b>安全・環境・健康</b> 安全・環境・健康に対する取り組みは、生命あるものにとって最も大切であり、常に最優先で考えます。</li></ul>
	<b>人々の暮らしを支える 存在として</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>お客様本位</b> お客様や社会からの期待、変化する時代の要請に真摯に向き合い、商品・サービスの安定的な供給に努めるとともに、私たちだからできる新たな価値を創出します。</li></ul>
	<b>活力ある 未来の実現に向けて</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>挑戦</b> 変化を恐れず、新たな価値を生み出すことに挑戦し続け、今日の、そして未来の課題解決に取り組みます。</li><li>● <b>向上心</b> 現状に満足せず、一人ひとりの研鑽・自己実現を通じて、会社と個人がともに成長し続けます。</li></ul>



## ⑦ 統合グループの事業概要

JXTGグループは、石油と金属を中心に、上流から下流まで幅広い事業領域を持ち、国際的な競争力を有するアジア有数の総合エネルギー・資源・素材企業グループとして発展します。



## 8 統合グループの事業戦略

基盤強化	<ul style="list-style-type: none"><li>• 抜本的な構造改革による統合シナジーの最大化</li><li>• 投資抑制、資産売却、運転資本圧縮などによる財務体質の改善</li></ul>
成長戦略	<ul style="list-style-type: none"><li>• 海外における中下流事業の強化</li><li>• 電気事業など将来の柱となる事業の育成</li><li>• 高機能素材を中心とした技術立脚型事業の育成</li></ul>
設備投資／ 事業ポートフォリオ	<ul style="list-style-type: none"><li>• 投資キャッシュ・フローの平準化などリスクマネジメント重視</li><li>• 上・中・下流バランスのとれた事業ポートフォリオを実現</li></ul>

## 9 中核事業の事業戦略

エネルギー事業	<ul style="list-style-type: none"><li>• 抜本的な合理化・効率化を強力に推し進め、徹底した事業変革を成し遂げることにより、事業基盤を一層強化</li><li>• 石油精製販売・石油化学事業において、統合効果の確実な実現・さらなる積み増しを図るとともに、不断の事業改革を推進</li><li>• 次世代の柱となる事業(海外事業・電気・ガス・新エネルギー・潤滑油・機能化学品)を育成・拡大</li></ul>
石油・天然ガス 開発事業	<ul style="list-style-type: none"><li>• 選択と集中によるポートフォリオの最適化、開発中および生産中の事業の着実な推進</li><li>• 新規投資は原則として事業から生まれるキャッシュ・フローの範囲内で実行、開発中および生産中の油田・ガス田はコスト削減に注力</li></ul>
金属事業	<ul style="list-style-type: none"><li>• 既存事業の安定操業・コスト削減に注力し、新規上流事業への投資は当面抑制</li><li>• 電材加工事業は、技術の優位性を活かして収益力を維持・拡大</li></ul>

## ⑩ 統合効果

本経営統合後3年以内に年額1,000億円以上の収益改善効果を達成することを目標とします。

供給・物流・販売部門	280億円	原油調達オペレーション最適化、陸海上配送効率化など
製造部門	400億円	川崎地区の一体運営による約100億円の収益改善 ベストプラクティス活用による省エネ促進・補修費削減など
購買部門	150億円	工事資材、触媒などの購買コスト削減
その他	170億円	統合基幹業務システム(ERPシステム)導入による業務改善 その他効率化・合理化など
合計	1,000億円	

上記の収益改善に加え、さらなる収益改善を達成するため、製油所の統廃合による固定費削減が必要不可欠であるとの認識のもと、統合エネルギー会社においてこれを検討し、早期に実現します。

## ⑪ 統合グループの経営目標

長期ビジョンおよび中期経営計画を策定するにあたり、以下の財務目標を掲げることを基本とします。ただし、統合持株会社が国際財務報告基準(IFRS)を適用することを踏まえ、国際財務報告基準に基づく数値を中期経営計画における財務目標として、2017年4月を目処に公表する予定です。

- 調整後連結経常利益\* (2019年度) ..... 5,000億円以上
- 連結自己資本当期純利益率(連結ROE) (2019年度) ..... 10%以上
- 連結ネットデット・エクイティ・レシオ(連結ネットD/Eレシオ) (2019年度) ..... 0.9倍以下
- 連結フリー・キャッシュ・フロー(2017~2019年度の合計額) ..... 5,000億円以上

※原油代の変動等に伴う在庫影響を除いた経常利益

## ⑫ 株主還元方針

統合持株会社は、株主の皆さまへの利益還元が経営上の重要課題であるとの認識のもと、中期的な連結業績の推移および見通しを反映した利益還元の実施を基本としながら、安定的な配当の継続に努めます。利益還元にあたっては、健全な財務体質の維持、投資計画およびキャッシュ・フローの推移を勘案します。

当面の株主還元方針としては、現在のJXホールディングスが実施している1株当たり年間16円の配当水準の維持を前提としながら、統合グループの収益力の強化による利益還元の積上げを目指します。利益還元の積上げの方法としては、増配のほか、自己株式取得を検討します。

### Q. 1 株式交換とはどのようなものですか？

#### A. 1

株式交換とは、一方の会社の株主に対して他方の会社の株式を交付することで他方の会社が完全親会社となる行為であり、上場会社間での経営統合などにおいて広く利用されています。

今回の経営統合にあたっては、当社の普通株式を保有する株主の皆さまに対し、統合持株会社JXTGホールディングスの普通株式が交付されます。

### Q. 2 株式交換により交付されるJXTGホールディングスの株式の数はどうなるのですか？

#### A. 2

本株式交換の効力発生日の前日(2017年3月31日)における最終の当社株主名簿に記録された株主の皆さまに対し、その保有する当社の普通株式1株に対してJXTGホールディングスの普通株式2.55株を交付します。

(例1)当社の普通株式1,000株を保有されている場合

$$1,000株 \times 2.55 = 2,550株$$

計算の結果、JXTGホールディングスの普通株式2,550株を交付します。

(例2)当社の普通株式3,555株を保有されている場合

$$3,555株 \times 2.55 = 9,065.25株$$

計算の結果、JXTGホールディングスの普通株式9,065株を交付します。  
この場合、1株に満たない端数0.25株につきましては、当該端数部分に応じた金額をお支払いします。

Q. 3

保有する当社株式がJXTGホールディングス株式に交換されるときに何か手続きは必要ですか？

A. 3

2017年3月31日における最終の当社株主名簿に記録された株主の皆さまの証券口座に、JXTGホールディングスの株式が自動的に交付されることとなりますので、株主の皆さまにおいてお手続きは不要です。

Q. 4

株式交換により単元未満株式が生じた場合はどうなるのですか？

A. 4

現在、当社の単元株式数は1,000株ですが、JXTGホールディングスの単元株式数は100株となります。株式交換により100株に満たない単元未満株式が生じた場合には、JXTGホールディングスに対し、単元未満株式の買取請求をすることで、換金が可能です。また、JXTGホールディングスに対し、自己の保有する単元未満株式と合わせて1単元(100株)となる数の株式の売り渡しを請求することも可能です。なお、単元未満株式は市場では売却できません。

Q. 5

当期(2016年12月期)の期末配当はどうなるのですか？

A. 5

基準日(剰余金配当受領株主確定日)である2016年12月31日における当社株主名簿に記録された株主または登録株式質権者の皆さまに対して、2017年3月に開催予定の当社定時株主総会の決議に基づき、当社からお支払いする予定です。

なお、この期末配当につきましては、1株当たり19円の普通配当に加えて、9.5円を特別配当として上乗せした28.5円とすることを2017年3月の定時株主総会に上程する予定です。

この特別配当は、2017年に入って株式交換効力発生日までの期間(1月1日から3月31日)を想定したものです。

## Q. 6 JXTGホールディングスの配当はどうなるのですか？

### A. 6

P.11の「**⑫株主還元方針**」に記載しましたので、ご覧ください。  
 なお、交付されたJXTGホールディングスの株式をそのままご所有いただきますと、2017年9月30日における同社株主名簿に記録されている株主として、同社取締役会決議に基づき、同社から中間配当が支払われる見込みです。

## Q. 7 当社の株式はいつまで売買できますか？

### A. 7

本経営統合に伴う株式交換により、当社株式は上場廃止となりますので、上場廃止の前日である2017年3月28日まで売買できます。  
 なお、交付されるJXTGホールディングスの株式は2017年4月1日より売却可能です。

## お問い合わせ先

株主の皆さまが所有されている株式の確認、住所変更、相続、配当金の振込指定など、各種手続きは、取引されている証券会社にお問い合わせください。

上記以外の株式事務に関して不明な点がございましたら、下記の株主名簿管理人にお問い合わせください。

### 株主名簿管理人

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部      フリーダイヤル    0120-232-711 (平日9:00～17:00)

(2016年12月22日以降)<sup>※</sup>

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部      フリーダイヤル    0120-782-031 (平日9:00～17:00)

※株主名簿管理人は2016年12月22日から上記に変更となります。

## 本資料に関するお問い合わせ先

---

〒108-8005 東京都港区港南1-8-15

東燃ゼネラル石油株式会社

電話 03-5495-6000 (代表)

---

